



大圧協新聞

大阪生コンクリート圧送協同組合
〒552-0007
大阪市港区弁天1-6-8 オレンジビル2F
(TEL) 06-6599-5530 (FAX) 06-6599-5537
(Email) daiatsukyou@h7.dion.ne.jp
(URL) http://www.h2.dion.ne.jp/~daiatsu/

コンクリート圧送基幹技能者 制度が発足します！

全国コンクリート圧送事業団体連合会（全圧連）は、受講・受験資格「コンクリート圧送業務経験が10年以上」「コンクリート圧送施工技能士1級」「職長教育終了」を満たした圧送従事者に、新たな上級資格として「コンクリート圧送基幹技能者」の資格を制定し、第1回認定講習・試験を本年8月21日～24日に実施する。結果発表は同年10月31日。

〈基幹技能者の役割〉

国土交通省は、平成7年「建設産業政策大綱」（基本目標／技術と技能に優れた人材が生産性を高める産業づくり）を、同8年に「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」を策定した。各専門工事業団体において、平成16年3月末現在で13職種19団体（機械土木・建築板金・鉄筋・型枠基幹技能者等々）が基幹技能者に係る民間資格を整備している。こ

れにコンクリート圧送業に加入することになる。

建設現場では、施工の実情に熟達した技能者が、実態に応じた施工方法を技術者に提案・調整し、現場の技能者に対しては適切な指揮・統率を行っていくことが重要。こうした役割を担うのが基幹技能者である。

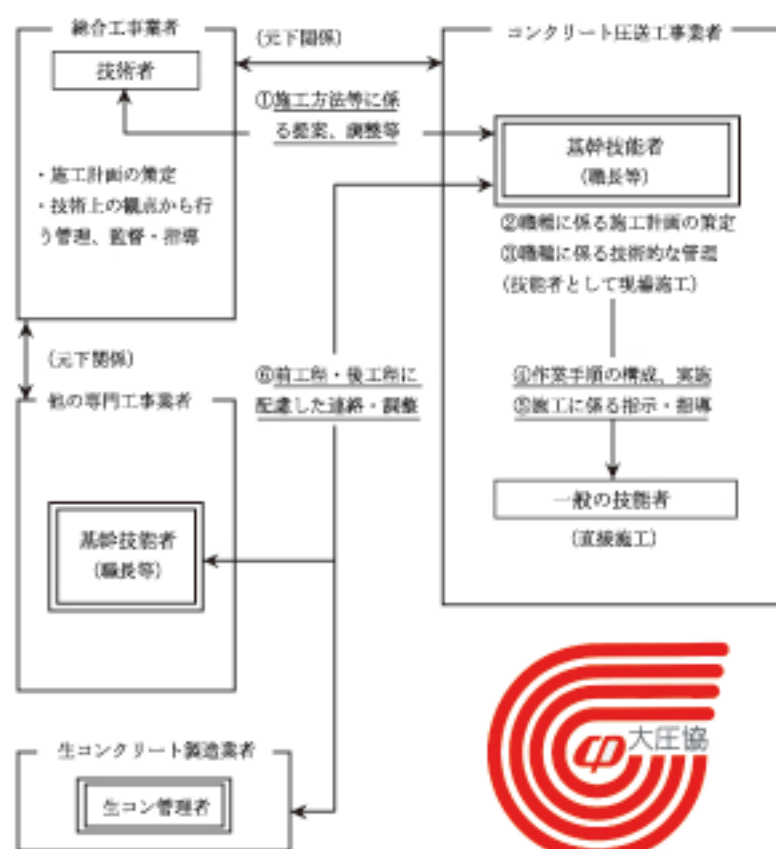
〈圧送基幹技能者とは〉

コンクリート圧送工事では、前工程である生コン製造業者、後工程の躯体・土工業者など関連職種と

の緊密な連携が必要。また、新しい建設生産システムの変化に対応するためには、設計者や元請技術者の要求するノウハウを吸収し、多様な専門技術を利用して生産性向上と現場の施工管理に関与できる能力も求められている。

従来は体験的訓練による技能修得が優先されてきた。しかし、これからはそうした「技能」だけではなく、「施工方法」や「関連職種との調整」に関与できる人材の育成が急務である。この人材がコンクリート圧送基幹技能者であり、幅広い専門知識、優れた指導力、現場管理能力・調整能力を期待される。具体的に、圧送施工計画の策定、圧送工事の連携、生コン工場や土工業者との連携、安全施工管理、圧送工事中の不測事態に対する迅速適切な対応、環境保護対策への配慮が圧送基幹技能者に求められる。

〔コンクリート圧送工事における基幹技能者の役割のイメージ〕



大圧協声明

〔深い反省と再生への決意〕

7月6日、コンクリート圧送施工技能士の検定試験問題を漏洩したとして、警視庁は私たちの中央組織である全圧連の会長・前技術委員長ら3名を職業能力開発促進法（秘密保持義務）違反容疑で逮捕した。

衝撃的な事件である。被疑事実についての説明は今後追って明らかにされるであろう。無実を願うものである。しかし、こうした事態の背景に、試験制度を「ゼネコンからの発注を受けるには、各社に一人でも多くの技能士が在籍していた方が有利」と考え利用する空気があったとしたら、私たち圧送業界は末期的である。

全圧連の「圧送マニュアル」にある通り、昭和40年前後に登場したコンクリートポンプ工法は、生産性の向上に寄与し、社会資本整備に大きな貢献を果たした。コンクリート圧送工事業は、今や建設産業に欠くことのできない重要な役割を担う専門工事業と位置づけられている。その重要な社会的責任を果たす上で不可欠なのが、技術力・安全施工能力の向上であり、より多くの技術者の養成である。そのための試験制度である。

「圧送業界の経営環境が厳しいから」とは言いつまい。ゼネコンやエンドユーザーである消費者の皆様に「安全で安心なコンクリート構造物」を提供するのは、私たち圧送事業者・労働者の社会的責任であり誇りである。同時に、現場で働く者すべての安全を守り続ける使命感を取り戻そう。私たちは初心に帰ろう！

最後に、逮捕された3名は取り調べに協力的と聞く。また、高齢かつ病弱でもある。一日も早い保釈を要請するものである。